

令和4年度

『地域のプラットフォーム』としての更なる「^{しんか}深化×進化」

地域密着型金融の具体的な取組み



令和5年3月



私たちは持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています。

目次

はじめに

1. 求められる役割と具体的施策
2. 新型コロナ、原油・原材料価格高騰の影響を受けた中小事業者への主な対応
3. 具体的な取組み事例
4. 地域経済の活性化に向けた金融仲介機能の発揮について
5. かぬましんきんSDGs宣言
6. 信用金庫役職員に求められること

はじめに

鹿沼相互信用金庫の概要

令和5年3月末現在

設立	大正14年10月27日		
所在地	鹿沼市上田町2331番地		
理事長	橋本 公之	役職員数	195名
預金残高	2,228億円	貸出金残高	1,074億円
店舗数	12店舗	主な営業エリア	鹿沼市、宇都宮市、日光市、栃木市

地域の概要

	鹿沼市	日光市	宇都宮市	栃木市
人口	91,788	74,518	514,238	150,719
世帯数	36,541	32,060	234,800	66,879
事業所数	4,259	3,853	20,635	6,417

【典拠】

人口・世帯数統計：各市HP推計人口直近データ等

事業所数：令和3年経済センサス(速報)



1. 求められる役割と具体的施策

(1) 地域密着型金融推進の3つのテーマ

- ① 顧客企業に対するコンサルティング機能の発揮
- ② 地域の面的再生への積極的な参画
- ③ 地域や利用者に対する積極的な情報発信

(2) 地域のプラットフォームを目指した4つの具体的施策

- ① 広域連携
- ② 産学官金の連携
- ③ 外部専門機関の活用
- ④ 地域金融の円滑化



(3) 地方創生への参画・貢献

- ① 地方版総合戦略(地方創生)への協力
- ② 企業の経営課題解決への支援

1. 求められる役割と具体的施策

- 事業づくり、企業づくり、産業づくりをとおして地域づくりを担う地域のプラットフォームを目指します。
(4) 地域経済活性化への取組概要図



2. 新型コロナ、原油・原材料高騰の影響を受けた中小事業者への主な対応(令和4年度)

(1) 新型コロナ、原油・原材料高騰等対策関連融資の積極的なご提案による資金繰り支援

栃木県制度融資支援実績： 実行件数 242件 実行額 3,357百万円(令和5年3月末現在)

(2) 各種公的支援制度(補助金等)を活用した中小事業者の経営課題解決支援

① 事業再構築補助金	申請支援件数	19件
② ものづくり商業サービス補助金	申請支援件数	12件
③ 栃木県事業承継補助金	申請支援件数	2件

(3) 中小企業者の販路拡大支援、販売促進支援

① 販路拡大支援

- ・各信用金庫と連携した各種リアル・WEB商談会等を活用した販路拡大支援
- ・しんきん地域創生ネットワーク(株)が提供する地域商社事業を活用した地域産品のブラッシュアップ
- ・信金中央金庫が提供するビジネスマッチングサイト「しんきんコネクト」による広域商談機会の提供

② 海外販路開拓支援

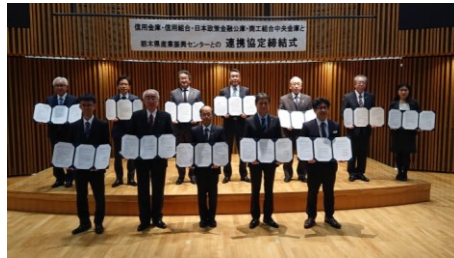
- ・信金中央金庫が開催した「菓子類海外販路開拓オンライン商談会」を活用した販路開拓支援

2. 新型コロナ、原油・原材料高騰の影響を受けた中小事業者への主な対応(令和4年度)

(4) 中小企業者の人材採用支援

○ 人材採用支援

- ・令和2年9月1日に業務提携したパーソルホールディングス(株)が提供する新卒採用支援サイト「dodaキャンパス」および中途採用支援サイト「マイダス」の支援サービスを活用し、人材不足が深刻化している取引先への支援に取り組み、累計185社を支援しました。
- ・令和5年2月1日に(株)リクルートと業務提携し、20～30代の若手中途採用サービス「就職Shop」を活用した人材採用支援を開始しました。



- ・令和5年3月22日、栃木県産業振興センターと当金庫を含む県内6信金、2信組、日本政策金融公庫、商工組合中央金庫が業務提携し、高度人材、副業・兼業人材を推進する「栃木県プロフェッショナル人材戦略拠点」の活用促進を図る取り組みを開始しました。

- ・東京東信用金庫と共催した「新現役交流会」の開催など、経営課題を抱える取引先事業様と、大手企業や研究機関を退職した、実務経験豊富な人材とのマッチング交流を実施して支援しました。



(5) 原油価格・燃料高騰に対する支援

- ・令和5年3月1日、ETCカード発行事業者である道央情報サービス(協)と業務提携し、事業者様を対象とした高速道路利用料金割引サービスの活用支援を開始しました。

3. 具体的な取組み事例 広域連携

(1) 信用金庫や地域金融機関ネットワーク活用による販路拡大

① 信用金庫の連携によるビジネスフェアへの参加

令和5年3月現在



実施時期	内容	参加企業
令和4年6月8日～令和4年9月7日	埼玉縣信用金庫「さいしん特産品オンラインショップ 粋」1回目	取引顧客2社参加
令和4年7月15日	東京東信用金庫「第7回 新現役交流会」	取引顧客2社参加
令和4年10月22日～23日	足立成和信用金庫「あだち菓子博2022アリオin西新井」	取引顧客2社参加
令和4年11月10日	東北地区信用金庫協会「ビジネスマッチ東北2022秋」	取引顧客4社参加 (バイヤー1社含む)
令和4年11月11日	東京東信用金庫「ひがしんビジネスフェア2022」	取引顧客2社参加
令和4年11月15日～令和5年2月14日	埼玉縣信用金庫「さいしん特産品オンラインショップ 粋」2回目	取引顧客2社参加
令和4年12月6日～7日	城南信用金庫「よい仕事おこしフェア」	取引顧客1社参加
令和4年12月14日～16日	中小企業基盤整備機構「新価値創造店2022」	取引顧客2社参加

② 栃木県内金融機関、日光市との連携によるビジネスフェア等の開催

令和5年3月現在

令和4年12月7日	「ものづくり企業」展示・商談会への開催	主催: 足利銀行 共催: 県内信金・信組	取引先顧客12社参加
令和5年2月9日	日光市「食のビジネス交流会」	主催: 日光市	取引先企業1社参加

③ 信金中央金庫によるビジネスマッチングの活用

信金中央金庫が提供するビジネスマッチングサイト「しんきんコネクト」への企業情報登録 バイヤー5件・サプライヤー16件
「しんきんコネクト」を活用した大手バイヤーとの「プレミアム商談会」への参加 4社

3. 具体的な取組み事例 広域連携

(2)互いの信用金庫の持つ特性を活かした連携によるお客さまや地域の支援

① 東京東信用金庫との「業務提携基本協定書」締結

- ・締結日：平成27年12月16日
- ・「ひがしんビジネスフェア」「新現役交流会」への出展・参加協力
- ・経営者の会の相互交流
- ・「かぬま秋祭り」への来訪



② 徳川家康公とゆかりのある9信用金庫による地域活性化に向けた連携

- ・平成27年11月1日 8信用金庫間で「地域活性化に向けた業務連携に関する覚書」の締結
- ・平成28年6月15日(信用金庫の日) 1信用金庫連携参加し、9信用金庫で再締結



③ 会津信用金庫との「観光振興連携協力に関する連携協定書」締結 締結日：令和元年7月1日

※順不同

- ・両金庫の営業エリア(東武鉄道、野岩線沿線エリア)において、以下の取組について相互協力する。
- ・観光、インバウンド誘致に伴う相互協力
- ・交流人口、観光消費拡大に資する事業
- ・その他の地域活性化に資する事業
- ・「わがまち基金」を活用した地方創生

④ 川口信用金庫、会津信用金庫との「観光連携・ビジネスマッチングに関する連携協定」の締結

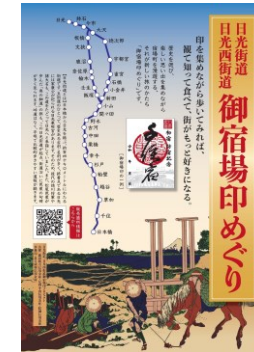
- ・令和4年11月29日、3信用金庫間で「相互地域内への観光誘致、およびビジネスマッチングの推進」にかかる連携協定を締結した。
- ・各営業エリアにおけるイベント情報の発信、旅行企画による観光誘客、事業者間のビジネスマッチングに取組む。



3. 具体的な取組み事例 広域連携

(3) 「日光街道・日光西街道 御宿場印プロジェクト」について

令和3年7月より、鹿沼相互信用金庫が、足立成和信用金庫（東京都）、足利小山信用金庫（栃木県）、結城信用金庫（茨城県）と共同で開始した事業であり、日光街道・日光西街道沿いの宿場町を「御宿場印」として表現し、各地の観光協会等で販売を開始しました。「御宿場印」を集めることで、近年需要が増加しているマイクロツーリズムへの活性化策として展開しています。



(4) 「会津西街道 御宿場印プロジェクト」について

「日光街道・日光西街道御宿場印プロジェクト」を延伸して、より一層、首都圏からの観光誘客を図るため、会津信用金庫と連携してプロジェクトを開始し、令和4年5月より日光市観光協会、会津観光ビューローが指定する宿場等での販売を開始しました。



(5) 地方創生に資する金融機関等の「特徴的な取組事例」にかかる内閣官房表彰の受賞

鹿沼相互信用金庫、足立成和信用金庫、会津信用金庫等による「御宿場印プロジェクト」が先進的な取り組みを行った事例として内閣官房より表彰を受けました。この表彰は全国で28金融機関が受賞しました。

3. 具体的な取組み事例 産学官金連携

(1) 地方創生への取組み 地方版総合戦略(地方創生)への協力

① 鹿沼市との連携・取組み

- ・令和3年8月に、鹿沼市、鹿沼相互信用金庫と、しんきん地域創生ネットワーク(株) (信金中央金庫の子会社)は、鹿沼市における観光振興を通じた地域活性化を目的として、地方自治体向け「地方創生コンサルティング事業」にかかる業務委託契約を全国で初めて締結しました。
- ・令和4年3月30日、しんきん地域創生ネットワーク(株)が鹿沼市と当金庫に対して、アンケート調査等に基づく「ニューツーリズムの整理」と「地域資源を活用した、具体的な旅行商品提案」にかかる答申書を提出しました。
- ・鹿沼市、鹿沼相互信用金庫およびしんきん地域創生ネットワーク(株)は、協定締結以前から、連携して活動しており、鹿沼市観光施設の活性化や第3セクターへの提言等、地域活性化に向けた取組みを継続しています。

② 日光市との連携・取組み

- ・平成27年5月より「日光市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進協議会」の委員として職員(今市支店)を派遣しています。
- ・令和2年4月2日に、「日光市と民間企業との協働に関する提案募集制度」を活用し、「よい仕事おこしフェア実行委員会」の協賛金庫である当金庫が仲介して、日光市と「よい仕事おこしフェア実行委員会」との間に、地域の活性化と産業の振興を図るための包括的連携協定を締結しました。
- ・「よい仕事おこしフェア実行委員会」と当金庫が連携し、「多言語観光情報サイトGuidoor(ガイドア)」を構築している、「一財)モバイルスマートタウン推進財団」を、日光市へ紹介しました。
その結果、日光市(一社)DMO日光(一財)モバイルスマートタウン推進財団の3者で、令和2年10月26日に、「インバウンド観光推進に関するパートナーシップ協定」を締結しました。

3. 具体的な取り組み事例 産学官金連携

(2) 公共団体・商工会団体・大学などを活用した地域活性化

① 国がすすめる「地域プラットフォーム」事業への参画

- 「かぬま広域支援ネットワーク」(鹿沼商工会議所代表機関)
- 「とちぎ未来創造カンパニー」(宇都宮商工会議所代表機関)

② 産業競争力強化法に基づく取り組み

- 栃木県事業承継・引継ぎ支援センターとの認定登録支援機関としての連携強化
- 「かぬま創業支援ネットワーク」参画
(令和4年10月18日・令和5年2月7日)

③ 栃木県との連携

- 「知的財産ビジネスマッチング交流会」後援

④ 鹿沼市との連携

- 鹿沼市花木センターの中期経営計画書作成支援
- 鹿沼市企業支援センターへの参画

⑤ 日光市との連携

- 「日光市ビジネス交流会事業」協力
- 「日光市観光推進協議会誘客推進部会」協力
- 「日光市創新塾」参加

⑥ 鹿沼商工会議所との連携

- 「事業承継バトンタッチ支援隊事業」参画
- 「包括連携協定」締結(令和元年11月5日)
- SDGsセミナーの共催(令和4年11月4日 リアル14名・WEB5名参加)
- 「かぬま創業塾」への参加(令和4年度は2回実施)
- 「次世代経営リーダー塾」の後援
- 「鹿沼経営人間塾」の共催(16名参加)

⑦ 栗野商工会との連携

- 「包括連携協定」締結(令和元年12月2日)

⑧ 日光商工会議所との連携

- 「包括連携協定」締結(令和3年4月16日)

⑨ 宇都宮大学との連携

- 「宇都宮大学産学官金コーディネーター」委嘱

⑩ 大学コンソーシアムとちぎ・産学官連携サテライトオフィスとの連携

- 「学生&企業研究会」協賛後援
- 大学研究機関が持つシーズを活用した取引先企業の課題解決

⑪ 栃木県産業振興センター知的財産支援部の活用

- 特許知財をもとにした取引先企業の事業評価書作成支援

⑫ 産学官金連携サテライトオフィス

- 事業者への新製品・新技術・建築工法の効果検証、特許取得支援など

⑬ 「かぬましんきん経済セミナー」の開催

- 令和5年3月8日 東武ホテルグランデにて、宇都宮大学、産学官連携サテライトオフィス、公共団体、商工会等と連携した経済セミナーを、かぬましんきんビジネスクラブリアン〜絆〜と共催し、地域の経営者への情報発信を行った。(第1部 149名・第2部 121名参加)

3. 具体的な取組み事例 産学官金連携

(3)外部専門機関と連携した中小事業者支援

① 創業支援

- ・かぬま創業支援ネットワークと連携し、鹿沼商工会議所が主催する「かぬま創業塾」に参画し、創業希望者へのアドバイスおよび資金繰り支援を行いました。
- ・令和4年3月、クラウドファンディング事業者「(株)CAMPFIRE」と業務提携し、クラウドファンディングによる、スタートアップ事業者の資金調達および商品テストマーケティング等の支援を開始しました。

② 事業転換・再構築支援

- ・令和5年1月、栃木県中小企業診断士会と業務提携を締結し、コロナ禍の影響を受け、事業転換・再構築を図る事業者様に対し、高度な知見に基づいたアドバイス、および各種補助金の申請支援を開始しました。

③SDGs取組支援サービスの開始

- ・令和5年3月、三井住友海上火災保険(株)と提携し、地域事業者様のSDGsへの取組支援を開始しました。
- ・中長期的な視点に基づいた「持続可能な開発目標」への取組支援を行うとともに、その取組内容を明文化した「SDGs宣言書」の作成、栃木県SDGs推進企業への登録支援を推進しています。
- ・この取組みにより、事業者様のサプライチェーン維持、将来的な人材確保、エシカル消費をはじめとした選択消費への対応を図ります。



3. 具体的な取り組み事例 産学官金連携

(4)かぬましんきんビジネスクラブリアン～絆～の活動

- ・発足日 平成29年6月19日
- ・活動目的 会員事業所間の相互交流と、経営に関する啓発・情報交換・親睦により経営資質の向上を図るとともに、地域経済の発展に貢献することを目的とする。
- ・会員数 245名(令和5年3月末現在)
- ・活動内容 講演会、研修会、会員交流会の開催、他信用金庫の経営者の会との交流 他

【令和4年度の活動実績】

- 令和4年 7月 4日 定期総会 第1部 総会・奈佐原文楽公演
第2部 涼風花の揮毫・宙子の歌唱
- 9月14日 視察研修会(両国国技館 大相撲九月場所観戦)
- 12月 講演会・交流会は新型コロナウイルス感染症の影響により中止
- 令和5年 3月 8日 かぬましんきん経済セミナーの共催



【令和5年度の活動予定】

- 令和5年 7月 定期総会
- 7月 視察研修会(明治座観劇)
- 10月 個別セミナー テーマ:販路開拓(予定)
- 12月 講演会・交流会の開催
- 令和6年 3月 かぬましんきん経済セミナーの共催



3. 具体的な取組み事例 外部機関

(1) 関東経済産業局が進める「金融連携プログラム」等の活用

① 関東経済産業局・栃木県・鹿沼市による中小企業支援補助金の活用

事業再構築補助金					ものづくり補助金				
令和2年度3次補正	令和3年度補正				平成30年度 ～令和3年度	令和4年度補正			
1次～5次公募	6次公募	7次公募	8次公募	9次公募		10次公募	11次公募	12次公募	13次公募
39件申請 16件採択	5件申請 4件採択	9件申請 7件採択	3件申請 2件採択	2件申請中	41件申請 20件採択	3件申請 1件採択	5件申請 5件採択	3件申請 2件採択	1件申請 1件採択

栃木県事業承継支援補助金	経営力向上計画				先端設備導入計画			
令和4年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
2件	2件認定	0件認定	2件認定	5件認定	10件認定	6件認定	3件認定	5件認定

② 中小企業支援ネットワーク事業の活用

専門家等派遣： 中小企業119・よろず支援拠点・外部支援機関等の活用

- 中小企業119 6件
- よろず支援拠点 5件
- 栃木県中小企業診断士会 1件
- (株)サクシード 13件

3. 具体的な取り組み事例 外部機関

(2) 「栃木県事業承継・引継ぎ支援センター」の活用による事業承継支援

① 鹿沼相互信用金庫から栃木県事業承継・引継ぎ支援センターへの相談紹介実績

・平成27年度	2件	・平成28年度	15件	・平成29年度	35件	・平成30年度	15件
・令和 元年度	22件	・令和 2年度	20件	・令和 3年度	38件	・令和 4年度	42件

② 栃木県事業承継・引継ぎ支援センターと連携した事業承継支援実績

- ・親族内・従業員承継計画の作成支援 13件
- ・M&Aアドバイザー契約に基づく事業譲渡・譲受 3件

(3) 各経済団体との連携による事業承継支援

◆ 鹿沼商工会議所

「バトンタッチ支援隊」活動内容： 連携会議 15回 同行訪問 123先

◆ 日光商工会議所 活動内容： 連携会議 12回 同行訪問 19先

◆ 栗野商工会 活動内容： 連携会議 13回

(4) 鹿沼商工会議所の日本商工会議所による事業活動表彰の受賞

当金庫と鹿沼商工会議所が連携して推進している「バトンタッチ支援隊」の活動について、地元信用金庫と会議所が二人三脚で事業者を訪問し、経営課題の掘起こし、および事業承継支援に取り組んでいる好事例として、鹿沼商工会議所が日本商工会議所から「事業活動表彰」を受賞しました。

3. 具体的な取組み事例 地域金融円滑化

① 地域企業支援検討会の開催による資金繰りの支援

【支援実績】

- ・平成27年度 527件、5,704百万円
- ・平成28年度 510件、5,610百万円
- ・平成29年度 582件、6,083百万円
- ・平成30年度 522件、6,232百万円
- ・令和元年度 672件、5,084百万円
- ・令和2年度 189件、2,026百万円
- ・令和3年度 190件、2,155百万円
- ※令和2・3年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、下半期分のみ開催
- ・令和4年度 441件、7,072百万円

② 令和4年度 地域創生応援資金の活用

【支援実績】

- 創業・開業資金「創世起」等 18件、77百万円
- 地域支援資金「ちから」 26件、58百万円
- 農業者向け資金「ハーベスト」 17件、77百万円
- 短期継続運転資金「ワンナップ」 11件、198百万円

専門的な人材の育成

- 宅地建物取引士 5名
- AFP 7名
- FP技能士1級 1名
- FP技能士2級 23名
- FP技能士3級 21名
- 介護福祉経営士 1名
- 事業承継士 1名
- 農業経営アドバイザー 6名
- 動産アドバイザー 1名
- 事業承継・M&Aエキスパート 1名
- M&Aシニアエキスパート 1名

③ 令和4年度 栃木県・各市制度融資の活用

【支援実績】

- 鹿沼市 78件、404百万円
- 日光市 12件、54百万円
- 宇都宮市 15件、143百万円
- 栃木県 24件、248百万円

※コロナ・原油原材料高騰関連融資は除く

4. 地域経済の活性化に向けた金融仲介機能の発揮について （「金融仲介機能のベンチマーク」を活用した当金庫の取組状況）



① 金融仲介機能のベンチマーク

鹿沼相互信用金庫は、「地元の繁栄なくして金庫の発展はない」という経営理念を掲げ、これまでの地方創生や地域活性化に積極的に取組みしてまいりました。

特に、平成26年度からは、「地域のプラットフォームとしての取組み」(※1)を当金庫の最重要課題に定めて、お客様の課題解決支援への取組みを強化しております。

こうしたなか、金融庁は、全ての金融機関が金融仲介機能の取組みの進捗状況や課題等を客観的に評価するために活用可能な「金融仲介機能のベンチマーク」(※2)を公表しております。

鹿沼相互信用金庫は、このベンチマークを効果的に活用しながらお客さまのニーズや課題に積極的に取組み、地域経済の活性化に向けた金融仲介機能を発揮してまいります。

(※1)「地域のプラットフォームとしての取組み」とは

鹿沼相互信用金庫は、地域の「事業づくり」「産業づくり」を通じた「地域づくり」を目指しており、全てのお客さまの相談場所としての「地域のプラットフォーム」となることを最大の経営課題として諸施策に取組みしております。

(※2)「金融仲介機能のベンチマーク」とは

平成28年9月、金融庁は、全ての金融機関が金融仲介の取組みの進捗状況や課題等を客観的に評価するために活用可能な「共通ベンチマーク」(5項目)と、各金融機関が自身の事業戦略やビジネスモデル等を踏まえて選択できる「選択ベンチマーク」(50項目)を公表しております。

また、これらに加えて、独自の指標として、「独自のベンチマーク」があります。

4. 地域経済の活性化に向けた金融仲介機能の発揮について («金融仲介機能のベンチマーク»を活用した当金庫の取組状況)

② 金融仲介機能のベンチマークへの取組方針について

鹿沼相互信用金庫では、毎年、事業計画を策定しており、その中で営業戦略を定めております。
 この営業戦略に基づき、「金融仲介機能のベンチマーク」に掲げられた項目のうち業務運営の結果を的確に把握、分析、自己評価するために必要と判断した項目について選択し、とりまとめております。

選択した項目のうち、現時点でお客さまに開示するにふさわしいと判断したベンチマークについて、以下のとおり抜粋して開示いたします。

イ「共通ベンチマーク」から選択したベンチマークは、①～②の2項目です。

		令和3年度				令和4年度			
		条件変更先	好調先	順調先	不調先	条件変更先	好調先	順調先	不調先
取引先企業の抜本的 事業再生等による 生産性の向上	①当金庫が貸付の条件変更を行っている中小企業の 経営改善計画の進捗状況（共通ベンチマーク2.）	36先	9先	12先	15先	33先	15先	10先	8先
	②当金庫が関与した創業、第二創業の件数 （共通ベンチマーク3.）	創業件数 8件		第二創業件数 0件		創業件数 10件		第二創業件数 0件	

ロ「選択ベンチマーク」から選択したベンチマークは、③～⑥の4項目です。

本業(企業価値の向上) 支援・企業のライフ ステージに応じた ソリューションの提供	③販路開拓支援を行った先数(地元・地元外・海外別) (選 択ベンチマーク18.)	ビジネスフェア 等出展先 39先	個別商談 紹介先 56先	ビジネスフェア 等出展先 31先	個別商談 紹介先 28先
	④事業承継支援先数 (選択ベンチマーク21.)	事業承継支援先 38先		事業承継支援先 42先	
人材育成	⑤取引先の本業支援に関連する研修等の実施数、 研修等への参加者数、資格取得者数 (選択ベンチマーク39.)	研修会の実施 2講座 21名	各種資格者 70名	研修会の実施 3講座 39名	各種資格者 68名
他の金融機関及び中小 企業支援策との連携	⑥取引先の本業支援に関連する中小企業支援策の 活用を支援した先数 (選択ベンチマーク43.)	・外部機関活用先 47先 ・令和2年度補正ものづくり補助金 申請件数8件・採択件数4件 ・令和2年度3次補正 事業再構築補助金 申請件数39件・採択件数12件		・外部機関活用先 63先 ・令和3年度補正ものづくり補助金 申請件数8件・採択件数6件 ・令和3年度補正 事業再構築補助金 申請件数17件・採択件数13件	

ハ「独自ベンチマーク」から選択したベンチマークは、⑦の1項目です。

広域連携による 観光誘客	⑦信用金庫のネットワークを活用した観光誘客の 推進(件数・人数)	新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため 自粛	新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため 自粛
-----------------	-------------------------------------	----------------------------	----------------------------

5. かぬましんきんSDGs宣言

かぬましんきんSDGs宣言



かぬましんきんは、国連が提唱する「持続可能な開発目標(SDGs)」に賛同し、地域のプラットフォームとして、豊かな地域社会の実現に向けて様々な活動を行なっています。

地域のプラットフォーム 鹿沼相互信用金庫

1. 地域経済の発展

- 外部機関との連携による中小企業の経営支援
- 信用金庫のネットワークを活かした販路拡大支援・観光振興への取組み
- 互いの信用金庫と連携した地域の支援
- 地方再生への取組み
- 創業・新事業支援
- 事業承継支援
- 中小企業の人材支援



2. 地域社会への貢献

- お客様組織を通じた地域との絆づくり
- 地域行事への積極的な参加
- 地域の図書充実への協力
- 「小さな親切」運動への参加



3. 地域社会の環境保全

- 環境問題に配慮した融資商品の取扱い
- 環境負荷低減に向けた取組み
- 環境改善に向けた取組み



5. 安心できる地域社会の実現

- 金融犯罪撲滅へ向けた取組み
- 反社会勢力の排除に向けた取組み



4. 地域を担う人材づくり 働きがいのある職場づくり

- 大学機関、商工団体等と連携した地域の未来を担う人材づくり
- 女性躍進、子育て支援等を通じた働きがいのある職場づくり



6. 信用金庫役職員に求められること ～地域創生のリーダーを目指して～

企業・個人のお客さまに長く寄り添い、「お客さま本位の営業」に徹し、「お客さまと共通の価値」を創造し、ともに「発展」する。

(1) 中長期的な取組み

地域社会の持続的な発展に貢献する

(2) 短期的な取組み

貢献するために必要な収益と取引基盤を確保する

(3) 組織を活用する

全役職員がいきいきとその力を発揮できる金庫を創る

地方創生への積極的な関与

地域経済の活性化

経営基盤の強化

5年・10年先を見据えた課題

- ① 金融仲介機能の質の改善に向けた取組み
- ② 地方創生に向けた金融仲介の取組みに係る多様なベンチマークの検討
- ③ 事業性評価およびそれに基づく解決策の提案・実行支援
- ④ 持続可能なビジネスモデルの構築およびビジネスモデルに起因するリスクへの対応
- ⑤ 持続可能性を支える経営管理体制の強化

(4) トピックス

- ① 栃木県内事業所のメイン取引金融機関に、(株)帝国データバンクが栃木県内2万2千社対象に調査したメインバンク実態調査で、全業種総合で足利銀行、栃木銀行、群馬銀行に次いで、当金庫が県内4位の評価を得た。(令和2年度)
- ② 第11回「日本でいちばん大切にしたい会社」大賞実行委員会特別賞を受賞した。この賞は、「人を大切にする経営学会」が主催しており、当金庫の地域のお客さまや地域社会に真に寄り添う経営姿勢が評価された。